



(財)若狭湾エネルギー研究センター

エネルギー研究開発拠点化ニュース

第11号

平成19年5月17日発行

我が国最大！ 太陽炉完成

「エネ研公開と市民講演会」を行いました

平成19年5月12日(土) エネ研では敷地内に完成した大型太陽炉の完成披露と、市民講演会を行いました。会場には敦賀市はもとより、福井市内や京都方面などから約250人の方々に来ていただき、大勢の参加者から好評をいただきました。

太陽炉完成披露



心配された天候もごらんのよう
に快晴で、大勢の観衆や報道機
関が見守る中、太陽炉を実際
に稼動させました

この10kW級大型太陽炉は3000という高温を得ることができます。今後この太陽炉を用いて幅広い研究を行っていきたく考えています。



市民講演会

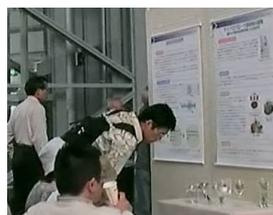


エネ研の所長や研究者らが、日ごろの研究活動についてわかりやすく説明しました。講演テーマは「エネルギーと人間生活」、「エネルギーの有効活用」、「陽子線がん治療」、「植物の品種改良」の4つです。

会場の様子



エネ研の新宮所長が発明し、特許申請している新型ヒートパイプのガラス細工オブジェ



エネ研で開発した観賞用マイクロフローラやペチュニアの新品種の展示



加速器模型

希望者には加速器やがん治療照射室も実際に見学していただきました。



各パネルでの研究紹介



IAEA/TWG-FR 40周年記念シンポジウム

このシンポジウムは、平成19年5月14日、日本原子力研究開発機構の「エムシースクエア」において、国際原子力機関（IAEA）の主催により開催されました。国内及び海外10ヶ国1機関から専門家約100名が参加しました。



国内外の著名な有識者4名から、高速炉への期待や高速炉開発の将来展望、その中でIAEA/TWG-FRが果たしてきた役割等について講演が行われました。



TWG-FR 参加国代表者（仏印日露米）と講演者4名により、IAEA及びTWG-FRの枠組みの下での国際協力や「もんじゅ」への期待などについてのパネル討論が行われました。

「TWG-FR (Technical Working Group on Fast Reactors)」とは、IAEAにおいて加盟国における高速炉の研究開発を支援するために設置された技術ワーキンググループです。次世代炉を含む高速炉と高速中性子加速器駆動システム(ADS)について、設計から建設、運転、廃止措置にわたる研究開発や関連する先進燃料サイクル技術の実用化に関する情報交換や国際協力の場の提供、各国の研究開発状況や成果の定期的なレビュー、IAEAへの提言等、高速炉の実用化に向けた推進役としての役割を果たしてきました。



原子力関連業務従事者研修

平成19年度も充実してスタートします。

エネ研では、平成17年度から文部科学省の制度を活用して実施している「原子力関連業務従事者研修」を今年度は約780名の方々を対象として実施します。また、昨年度から経済産業省の制度活用して実施している「原子力関連業務人材育成実務研修」は約460名の方々を対象として実施します。

カリキュラムや研修内容で、19年度に追加・充実した項目は次の通りです。

- (1) トップセミナー 研修事業についてより広く県下全域に周知するため、会場を2箇所（武生商工会議所、おおい町総合町民センター）追加

平成19年5月21日(月) 14:00~15:30(予定) 福井県若狭湾エネルギー研究センター「ホール」	平成19年5月31日(木) 14:00~15:30(予定) おおい町総合町民センター「2階 会議室」
平成19年5月24日(木) 13:30~15:00(予定) 福井商工会議所ビル「2階 A・B会議室」	平成19年6月4日(月) 13:30~15:00(予定) 武生商工会議所「3階 会議室E」

- (2) 基礎研修 県内企業のニーズに応じて、原子力施設の現場保守作業に必要な技能実習を充実したカリキュラムに変更
- (3) 専門研修 放射線取扱主任者に必要な講座、機器の異常状態を体感できる体感講座およびISOのシステム維持に役立つ講座を追加
- (4) 実務研修 県内企業のニーズに応じて、資格取得講座（管工事施工管理技士、機械保全技能士等）を充実

日程などの詳細や、OJT研修等の全体的な計画はホームページをご覧ください。

<http://www.werc.or.jp/>